

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

### 事業名 新 自動車の電動化支援試験研究機器整備事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 技術支援係 電話番号：058-272-1111(内 3096)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 41,490 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	41,490	6,915	0	0	0	0	27,660	0	6,915
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・国の2050カーボンニュートラルに伴うグリーン戦略において、成長が期待される14分野の1つに自動車・蓄電池がある。このなかで、電動化と蓄電池の目標が設定されており、技術開発の促進が必要とされている。
- ・自動車産業への研究開発支援として、「革新的モノづくり技術開発プロジェクト」において、EMC試験設備による車載器のノイズ対策で企業の製品開発を支援してきた。また、「新価値創造によるサステイナブル社会推進プロジェクト」により、部材の軽量化や工程の削減に寄与するプラスチックや複合材料を用いた製品開発を支援する研究を進めている。
- ・県内中小企業が、製品の安全性・安定性を評価するためには専用の分析装置が必要であるが、自動車分野に特化した分析装置を自社で整備し、評価技術に習熟することは困難なため支援を必要としている。
- ・また、シミュレーション技術を用いた設計等、新たな技術によるモノづくりが次世代自動車対応には必要となるが、機器の導入から習熟、ノウハウの蓄積まで自社で進めることも難しく、機器整備とともに技術指導を含む支援を必要としている。

## (2) 事業内容

- ・ 県内企業が次世代自動車に関連する事業に参入していくための高度な試験研究設備を試験研究機関へ設置し、依頼試験あるいは開放機器として利用可能にすることで、研究段階から実用化段階への移行を支援する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

交付金事業で実施する。

## (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	41,490	試験研究備品の購入
合計	41,490	

#### 決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」の公開の際に記載します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県DX推進計画の製造業プロジェクト、研究開発支援プロジェクト、成長産業（エネルギー関連産業）プロジェクトに位置付けられる（予定）。
- ・ 次期岐阜県成長・雇用戦略の脱炭素社会に向けた対応に位置付けられる（予定）。
- ・ 「脱炭素社会ぎふ」の実現に寄与する。

#### (2) 国・他県の状況

- ・ 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定（経済産業省）
- ・ 地方公共団体における2050年ゼロカーボンシティ表明（環境省）

#### (3) 後年度の財政負担

- ・ 故障時の修繕費用
- ・ 機器校正費用

#### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 岐阜県（工業系試験研究機関）が企業支援を実施し、新規分野への参入への障壁を低くすることで産業振興を促す。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 令和4年度中に県内企業が自動車の電動化技術に対応していくため、高度な試験研究設備を県が試験研究機関へ設置し、依頼試験あるいは開放機器として利用可能にすることで、研究段階から実用化段階への移行を支援する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						%
機器利用の推進 ① ※機器利用回数	0	/	/	/	40	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

**（これまでの取組内容と成果）**

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>3</p> <p>岐阜県DX推進計画並びに、次期成長・雇用戦略においても脱炭素社会に向けた対応が検討されており、本事業はこれらに合致したもので必要性が高い。2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現にも、自動車の電動化は大きく寄与する。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項                  導入機器の故障時の対応やソフトウェアの保守</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  県内企業に対し導入機器の周知を図って活用を促し、技術支援を一層進める。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	